

後、委任者氏名・印鑑と申請確認欄の氏名・印鑑の一致を確認。

## 9. 申請確認欄

- ・被保険者住所と氏名と捺印の確認。

### 住宅改修が必要な理由書

#### 1. 作成者の資格

- ・利用者のケアプラン作成者か以下の専門職であることを確認。（以下は、長野市の基準）  
：作業療法士，理学療法士，福祉住環境コーディネーター2級以上の人<sup>3)</sup>，増改築相談員<sup>3・4)</sup>，マンションリフォームマネジャー<sup>3・4)</sup>
  - <sup>3)</sup> 当該保険者に始めて理由書を提出する場合には資格証明の書類（証明書の写しなど）を添付
  - <sup>4)</sup> 住宅リフォーム・紛争処理センターの介護保険・住宅改修研修の修了者であること

#### 2. 総合的状況（1頁）

- ・利用者の身体状況欄に、屋内改修の場合には屋内の移動方法（例、つかまらないで歩ける、つたい歩き、介助歩行、杖や歩行器利用、車いす介助など）、屋外改修の場合には屋外の移動方法が記載されているかを確認。未記入の場合は作成者に確認。
- ・介護状況欄に、当該改修で改善を目指す活動（排泄、入浴、外出、その他）における、各種介護サービスや家族介護の状況が記載されているかを確認。未記入の場合には作成者に確認。

#### 3. 改善しようとしている生活動作、困難な状況、改修目的、改修項目（2頁）

- ・その他の活動の場合には、利用者の具体的な生活動作（例、調理：台所までの移動、洗濯：洗濯機からの洗濯物の取り出しなど）を記入しているかを確認。未記入の場合には作成者に加筆を依頼。
- ・改修項目（改修箇所）すべてについて、改修が必要な理由が「困難な状況」と「改修目的」に記載されていることを確認。未記入のものがあれば作成者に加筆を依頼。
- ・困難な状況については、動作のレベル（例、立ち上がる、歩く、車いすを押す、またぐ、段差昇降、扉を開閉するなど）で記述する。ただし、改修設備に関連する動作だけでよい。未記入の場合は作成者に確認。
- ・住宅改修により…どう変えたいか欄については、記載なしがあるかどうかを確認。

#### 4. 改修項目

- ・理由書と申請書と見積書との改修項目（改修箇所を含む）は一致して、保険給付の対象種目に該当することを確認。
- ・理由書と見積書と住宅改修の予定の状態が確認できるものを照合して、改修内容に利用者の日常生活に無関係な設備が含まれていないかを確認（例、幅広の玄関アプローチの路面整備を行う場合、移動に必要な範囲が給付対象となる）。

### 工事費用の見積書

#### 1. 内訳

- ・理由書の改修項目（改修箇所）ごとに材料と数量と費用が記入されていることを確認。
- ・材料費と施工費を区分していることを確認。
- ・保険対象部分が明記されていることを確認。ただし、対象範囲の明示が困難な項目については、按分を示して、その根拠を明記すればよい。

#### 2. 金額

給付対象の合計金額、申請書で確認した給付限度額を超過していないかを確認。

### 3. 作成者

施工業者名記入と捺印を確認後、申請書の施工業者名との一致を確認。

#### **住宅改修の予定の状態が確認できるもの（写真または簡単な図）**

※完了報告時まで提出する「改修の完了後の状態を確認する改修前の日付入り写真」と兼ねる場合

- ・改修項目（改修箇所を含む）すべての改修前の状況を示す写真などがあるかを確認。写真などなし、または以下の条件に非該当の場合には写真の追加を依頼。

手すり：原則は、手すり設置予定の全景。分割して撮影してもよい。全景の写真撮影が困難な場合は、手すり設置の両端の写真と図面でもよい。

段差解消&路面整備など：原則は、段差の状況や路面の全景（例、すりつけ板を敷居の両側に設置するときは両方の段差が確認できること）。分割して撮影してもよい。全景の写真撮影が困難な場合は、段差や路面の状態を確認できる部分の写真と図面でもよい。

扉などの変更：改修が必要な状況を確認できるもの（例、開き戸から引き戸に変更の場合は開き戸が確認できるもの。引き戸の拡幅の場合は、開口幅が確認できるもの。両側のドアノブ変更の場合は両者が確認できるもの）。

#### **受領委任払い申請書**

- ・受領委任する者の記載内容と、申請書の被保険者番号・氏名・住所、着工予定日、改修見積額との一致を確認
- ・受領委任される者の事業所名と申請書の施工業者の一致を確認後、会社印を確認
- ・受領委任される者の振込先の記載内容と、申請書の金融機関、口座名義人、口座種別・番号との一致を確認
- ・受領委任される者の事業所の代表者名と口座名義人の一致を確認後、捺印を確認
- ・完成予定日を確認
- ・委任状の日付が申請日かそれ以前

#### **事前確認結果を利用者に報告**

- ・介護保険管理システムに入力して「審査終了通知」を出力。「審査終了通知」「申請書のコピー」「完了報告書」を発送。受領委任払いの場合には、「受領委任払い承認通知」も同封する。
- ・給付対象外の設備や費用が含まれている場合には、「審査終了通知」に、その旨を記載する。

#### **完了報告時**

##### **提出書類の確認**

必須

- ・完了報告書
- ・住宅改修に要した費用に係わる領収書
- ・工事内訳書
- ・住宅改修の完了後の状態が確認できるもの（改修前後の日付入り写真）

必要に応じて

- ・住宅所有者の承諾書（住宅の所有者が利用者と異なる場合；事前申請時に提出済みの場合あり）

- ・工期証明（住宅改修の完了後の状態が確認できるもの（写真）に日付なしの場合）

#### **完了報告書**

- ・被保険者氏名と住所  
被保険者や住所や捺印が支給申請書と同じかを確認
- ・認定期間内の申請と事前申請  
着工日が認定期間内かを介護保険管理システムで確認  
着工日が事前申請の日またはそれ以降か、と完成日が完了報告の日かそれ以前かを確認。  
事前申請なしの場合には、入院（入所）者が退院（退所）後の住宅での受け入れのため、あらかじめ着工する必要があるなどの「やむをえない事情」に該当するかを確認

#### **住宅改修に要した費用に係わる領収書**

- ・施工業者名が見積書と内訳書の作成業者と同じかを確認。
- ・領収書と内訳書と見積書の金額の一致を確認。給付対象外の工事費用分を含む金額でもよいがその場合には、内訳書に区分を明記しているかを確認。見積書と金額異なる場合には理由を確認。記載された内容を実施しない場合、記載されない内容を実施した場合には、原則として変更申請を求める。

#### **工事内訳書**

- ・事前申請時に提出した書類と合わせて、給付対象の全費用の理由を説明した書類がそろっているかを確認。
- ・給付対象の費目との一致を確認。
- ・領収書との合計金額との一致を確認。

#### **住宅改修の完了後の状態が確認できるもの（写真）**

- ・給付対象の設備（改修箇所）について改修前後のすべてがあるかを確認（改修前の写真を提出済みの場合あり）。原則は全景。
- ・改修前後の写真の照合。
- ・改修後の写真の日付が改修前完了日以降の日付であるかを確認。日付なしの場合は、工期証明の添付を請求。

#### **住宅所有者の承諾書（住宅の所有者が利用者と異なる場合）**

##### **<賃貸契約の場合（定型3）>**

- ・賃借人の住所・氏名（捺印を含む）と改修に関わる記載が申請書と一致していることを確認
- ・賃貸人の住所・氏名と捺印と確認事項を確認
- ・承諾書の日付が申請日か申請日の前であることを確認

##### **<親族所有の場合（定型4）>**

- ・住宅所有者が承諾書と申請書で一致しており、被保険者との関係が親族であることを確認
- ・住宅所有者が承諾書と申請書で一致していることを確認後、捺印を確認
- ・被保険者が承諾書と申請書で一致していることを確認

#### **給付管理**

- ・介護保険管理システムに入力
- ・国保連に審査依頼
- ・「支給決定通知」を作成して、利用者に発送

資料4 千葉県B市の「理由書」事前申請時の確認シート改訂版

No. \_\_\_\_\_ 申請受理年月日 \_\_\_\_\_ 記入（受理）者 \_\_\_\_\_  
 申請書提出者（ア. 介護支援専門員 イ. 施工事業者 ウ. 利用者家族 エ. その他 \_\_\_\_\_）

総合的状況の確認（理由書1枚目のポイントをメモ）

利用者の身体状況／介護状況	住宅改修によって得ようとする生活目標
---------------	--------------------

改修目的と改修項目の関係についてのチェック

チェック項目	問題の有無／内容	対応と対応結果
<b>改善しようとする動作と改修項目の対応関係</b> 理由書2枚目：「改善する生活動作」「具体的困難状況」「改修項目（箇所）」に一貫性があるか	問題なし 問題あり：	介護支援専門員に確認 （窓口・電話） 結果
<b>「具体的な困難状況」の具体性</b> 理由書2枚目：「具体的困難状況」の記述内容は具体的か（「改善する生活動作」の選択肢の文言が繰り返されていないか）	問題なし 問題あり：	介護支援専門員に確認 （窓口・電話） 結果
<b>自立支援目的の妥当性</b> 理由書1枚目：「身体状況」「生活目標」、2枚目「困難状況」「改修目的・期待効果」から判断して、自立支援目的といえるか	問題なし 問題あり：	PTに確認・相談 介護支援専門員に確認 （窓口・電話） 結果

改修内容・方法の妥当性についての確認：理由書（「困難状況」「身体状況」「改修方針」「改修項目（箇所）」および、図面をもとに判断する

問題の有無／内容	対応と対応結果
問題なし 問題あり：	PTに確認・相談 介護支援専門員に確認（窓口・電話） 結果

資料5 愛知県B市リフォームヘルパー事業の事後評価票

住宅改修・リフォーム評価票									
対象者氏名:		生年月日: M・T・S 月 日		年齢:	歳	性別:	男 女	要介護度: 要支援1、2、要介護1、2、3、4、5	
記入者:		麻痺の有無: 有 無			移動方法:				
(事業所名):		疾病名(障害名):			介護者:				
＜実施した改修・リフォームの内容＞									
①		②		③			④		
⑤		⑥		⑦			⑧		
改修・リフォーム前の状況			現在の活用状況			改修による効果の評価			
改善しようとした行為	改善しようとした生活動作		改修箇所が利用されているか (改修箇所番号と○,△,×)	利用されていない理由 (下記の1~5から選ぶ)	利用されている場合 (下記のA~Dから選ぶ)		生活の変化について (下記の①~③から選ぶ)		
	細分類表をもとに、改善しようとした生活動作の内容を記入する (複数可)				想定した利用	実際の利用	安全性	動作のしやすさ	時間
排泄	トイレまでの移動								
	トイレ出入口の出入り								
	トイレ内の移動								
	便器からの立ち座り								
	衣類の着脱								
	排泄時の姿勢保持								
	後始末								
	その他								
入浴	浴室までの移動								
	衣類の着脱								
	浴室出入口の出入り								
	浴室での移動(立ち座り含む)								
	洗い場での姿勢保持(洗体・洗髪含む)								
	浴槽の出入(立ち座りを含む)								
	浴槽内での姿勢保持								
	その他								
外出	出入口までの移動(廊下や玄関たたき等)								
	上がり框の昇降								
	車いす等装具の装着								
	履物の着脱								
	出入口の出入り								
	出入口から敷地外までの屋外移動								
	その他								
	その他								

別表Ⅰ～Ⅲから該当の項目を記入

＜利用されていない状況を以下から選んで記入する＞

1. 入院、死亡等で在宅生活を継続していない。
2. 身体機能が低下し、想定していた生活動作ができなくなった。
3. 改善しようとした生活動作が本人の生活に対する要望と合っていないかった。
4. 工事内容に問題があり、利用できなかった。
5. その他

＜利用状況を以下から選んで記入＞

○. 利用されている  
△. 利用しているが使いづらい  
×. 利用されていない

＜変化を以下から選んで記入＞

① より安全にできるようになった  
② 変わらない  
③ 危険が増した

① より簡単に動けるようになった  
② 変わらない  
③ かえって動きにくくなった

① より早く動けるようになった  
② 変わらない  
③ かえって時間がかかるようになった

住宅改修・リフォーム評価票

対象者氏名:

記入者:  
(事業所名) :

1. 改修箇所が現在利用されていない理由が「2.」から「5.」の場合、その具体的な内容についてうかがいます。

例:・便器に立ち座りする動作に対し手すりの位置が合わなかった／・段差解消をお願いしたのに段差が残っていた等

2. 住宅改修工事を実施した際の工事業者の対応についてうかがいます。

- ① 見積もり、費用明細など、わかりやすい説明でしたか。 ( はい・いいえ )
- ② 工事実施中には、質問や要望に柔軟に対応してくれました。 ( はい・いいえ )
- ③ 工事実施後、利用状況や不具合の確認がありましたか。  
( 訪問して確認してくれた・電話で確認してくれた・してくれなかった )
- ④ 工事にかかった全体金額は妥当なものでしたか。 ( 妥当な金額・若干高い・とても高い )
- ⑤ 全体として工事業者の対応に問題はありましたか。 ( 問題なかった・問題があった )

↓  
その内容

3. 住宅改修を行ってからの、気持や行動の変化についてうかがいます。

- ① 安心感は増えましたか。 ( 増えた・かわらない・減った )
- ② さまざまなことを行う際の意欲は増えましたか。 ( 増えた・かわらない・減った )
- ③ 生活に対する満足感は増えましたか。 ( 増えた・かわらない・減った )
- ④ 自分が健康であるという実感が増えましたか。 ( 健康感が増した・かわらない・健康感が減った )
- ⑤ 行動範囲が広がりましたか。 ( 行動範囲が広がった・かわらない・行動範囲は狭まった )
- ⑥ 生活するうえで変化はありましたか。 ( あった・かわらない・なかった )

↓  
その内容(具体的に)

4. 住宅改修を実施後、新たな工事の希望や予定はありますか。(既に実施したものも含む)

5. 今回実施した住宅改修工事について、満足している点、不満な点など、率直なご意見、ご感想をお聞かせください。(今後の改善に役立てたいと考えています)

資料6 「理由書」の「改善しようとする生活動作」の細分類（千葉県B市）

1. 「改善しようとする生活動作」（要介護度別）

	合計 N=399	要支援1・2 経過的 N=106	要介護1 N=110	要介護2 N=62	要介護3 N=72	要介護4・5 N=49
排						
トイレまでの移動	107 (26.8)	17 (16.0)	34 (30.9)	21 (33.9)	16 (22.2)	19 (38.8)
トイレ出入口の出入（扉開閉含む）	106 (26.6)	15 (14.2)	32 (29.1)	24 (38.7)	21 (29.2)	14 (28.6)
便器からの立ち座り（移乗含む）	173 (43.4)	43 (40.6)	49 (44.5)	29 (46.8)	33 (45.8)	19 (38.8)
衣服の着脱	42 (10.5)	8 (7.5)	7 (6.4)	6 (9.7)	13 (18.1)	8 (16.3)
排泄時の姿勢保持	58 (14.5)	10 (9.4)	20 (18.2)	12 (19.4)	9 (12.5)	7 (14.3)
後始末	24 (6.0)	3 (2.8)	8 (7.3)	5 (8.1)	6 (8.3)	2 (4.1)
排泄に関するいずれかの動作	226 (56.6)	51 (48.1)	67 (60.9)	41 (66.1)	41 (56.9)	26 (53.1)
入						
浴室までの移動	65 (16.3)	12 (11.3)	22 (20.0)	9 (14.5)	13 (18.1)	9 (18.4)
衣服の着脱	18 (4.5)	6 (5.7)	4 (3.6)	4 (6.5)	2 (2.8)	2 (4.1)
浴室出入口の出入（扉開閉含む）	148 (37.1)	45 (42.5)	37 (33.6)	27 (43.5)	28 (38.9)	11 (22.4)
浴室内での移動（立ち座り含む）	109 (27.3)	32 (30.2)	29 (26.4)	19 (30.6)	19 (26.4)	10 (20.4)
洗い場での姿勢保持（洗体洗髪含む）	36 (9.0)	8 (7.5)	8 (7.3)	8 (12.9)	8 (11.1)	4 (8.2)
浴槽の出入（立ち座り含む）	127 (31.8)	44 (41.5)	41 (37.3)	21 (33.9)	14 (19.4)	7 (14.3)
浴槽内での姿勢保持	44 (11.0)	15 (14.2)	8 (7.3)	8 (12.9)	8 (11.1)	5 (10.2)
その他	1 (0.3)	0 (0)	0 (0)	1 (1.6)	0 (0)	0 (0)
入浴に関するいずれかの動作	204 (51.1)	64 (60.4)	59 (53.6)	31 (50.0)	30 (41.7)	20 (40.8)
外						
出入口までの屋内移動	78 (19.5)	15 (14.2)	21 (19.1)	14 (22.6)	16 (22.2)	12 (24.5)
上りかまちの昇降	118 (29.5)	32 (30.2)	39 (35.5)	18 (29.0)	17 (23.6)	12 (24.5)
車いす等、装具の着脱	5 (1.3)	0 (0)	0 (0)	1 (1.6)	3 (4.2)	1 (2.0)
履物の着脱	43 (10.8)	15 (14.2)	12 (10.9)	9 (14.5)	4 (4.2)	3 (6.1)
出入口の出入（扉開閉含む）	26 (6.5)	2 (1.9)	4 (3.6)	3 (4.8)	9 (12.5)	8 (16.3)
出入口から敷地外までの屋外移動	122 (30.6)	37 (34.9)	25 (22.7)	21 (33.9)	22 (30.6)	17 (34.7)
その他	1 (0.3)	1 (0.9)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
外出に関するいずれかの動作	236 (59.1)	63 (59.4)	63 (57.3)	40 (64.5)	41 (56.9)	29 (59.2)
その他						
階段昇降	43 (10.8)	20 (18.9)	14 (12.7)	4 (6.5)	2 (2.8)	3 (6.1)
居室間移動	56 (14.0)	18 (17.0)	17 (15.5)	6 (9.7)	9 (12.5)	6 (12.2)
室内移動	11 (2.8)	5 (4.7)	1 (0.9)	2 (3.2)	2 (2.8)	1 (2.0)
その他	14 (3.5)	5 (4.7)	5 (4.5)	1 (1.6)	3 (4.2)	0 (0)

2. 「排泄」に関する「改善しようとする動作」の細分類

<p><b>1. トイレまでの移動</b> <span style="float:right">N=107</span></p> <p><b>[歩行・杖の場合]</b></p> <p>1.つかまる所がなく、歩行が不安定 <span style="float:right">60</span></p> <p>2. (大きな) 段差があり、昇り降りが不安定 <span style="float:right">3</span></p> <p>3. (小さな) 段差があり、つまづく危険がある <span style="float:right">7</span></p> <p>4.途中の扉の開閉が困難 <span style="float:right">3</span></p> <p>5.途中の階段の昇降が不安定 <span style="float:right">3</span></p> <p>6.トイレまで遠く、移動が大変 <span style="float:right">3</span></p> <p>7.その他 (途中で立ち上がり/経路ガイド) <span style="float:right">5</span></p> <p><b>[車いす・シャワーキャリー・歩行器の場合]</b></p> <p>11.床が畳等で、車いすが走行しにくい <span style="float:right">2</span></p> <p>12.敷居などの段差で、車いすが走行しにくい <span style="float:right">10</span></p> <p>13.途中の扉の開閉が困難 <span style="float:right">1</span></p> <p>14.途中の扉の幅が狭く、通行に支障 <span style="float:right">1</span></p> <p>15.通路幅が狭く、通行に支障 <span style="float:right">1</span></p> <p>16.途中の階段の昇降が困難 <span style="float:right">0</span></p> <p>17.トイレまで遠く、移動が大変 <span style="float:right">0</span></p> <p>18.その他 <span style="float:right">0</span></p> <p>10.詳細記述なし <span style="float:right">7</span></p> <p>00.該当記述なし <span style="float:right">7</span></p>	<p><b>3. 便器からの立ち座り (移乗を含む)</b> <span style="float:right">N=173</span></p> <p>1.和式便器でしゃがむ・立ち上がる動作が困難 <span style="float:right">7</span></p> <p>2.洋式便器からの立ち上がりが不安定 <span style="float:right">102</span></p> <p>3.洋式便器に腰掛ける動作が不安定 <span style="float:right">34</span></p> <p>4.車いすから便器への移乗が困難 <span style="float:right">3</span></p> <p>5.トイレ内で身体を回転させる動作が不安定 <span style="float:right">9</span></p> <p>6.トイレ内での移動が不安定 <span style="float:right">11</span></p> <p>7.その他 <span style="float:right">0</span></p> <p>10.詳細記述なし <span style="float:right">37</span></p> <p>00.該当記述なし <span style="float:right">15</span></p>
<p><b>2. トイレ出入口の出入</b> <span style="float:right">N=106</span></p> <p><b>[歩行・杖の場合]</b></p> <p>1. (大きな) 段差があり、昇り降りが不安定 <span style="float:right">17</span></p> <p>2. (小さな) 段差があり、つまづく危険がある <span style="float:right">20</span></p> <p>3.出入口扉の開閉が困難 <span style="float:right">16</span></p> <p>4.出入口扉の開き勝手が動作の妨げになる <span style="float:right">5</span></p> <p>5.出入口の幅が狭く、通りにくい <span style="float:right">3</span></p> <p>6.その他 (入口で立ち上がり) <span style="float:right">1</span></p> <p><b>[車いす・シャワーキャリー・歩行器の場合]</b></p> <p>11.敷居などの段差で、車いすの出入が困難 <span style="float:right">10</span></p> <p>12.出入口扉の開閉が困難 <span style="float:right">1</span></p> <p>13.出入口扉の開き勝手が移動の妨げになる <span style="float:right">1</span></p> <p>14.出入口扉の幅が狭く、通りにくい <span style="float:right">5</span></p> <p>15.その他 (出入口で車いすから立ち上がり) <span style="float:right">4</span></p> <p>10.詳細記述なし <span style="float:right">16</span></p> <p>00.該当記述なし <span style="float:right">17</span></p>	<p><b>4. 衣服の着脱</b> <span style="float:right">N=42</span></p> <p>1.つかまる所がなく、上げ下ろし動作不安定 <span style="float:right">13</span></p> <p>2.その他 (衣服着脱動作の際の立位保持困難) <span style="float:right">3</span></p> <p>10.詳細記述なし <span style="float:right">10</span></p> <p>00.該当記述なし <span style="float:right">16</span></p> <p><b>5. 排泄時の姿勢保持</b> <span style="float:right">N=58</span></p> <p>1.座位姿勢が不安定 (上体が傾く) <span style="float:right">11</span></p> <p>2.和式便器での姿勢保持が困難 <span style="float:right">5</span></p> <p>3.小便器使用時の立位保持が困難 <span style="float:right">3</span></p> <p>4.その他 <span style="float:right">0</span></p> <p>10.詳細記述なし <span style="float:right">12</span></p> <p>00.該当記述なし <span style="float:right">27</span></p>
	<p><b>6. 後始末</b> <span style="float:right">N=24</span></p> <p>1.お尻を拭く動作が困難 <span style="float:right">2</span></p> <p>2.紙をとりにくい <span style="float:right">0</span></p> <p>3.水を流す動作が困難 <span style="float:right">1</span></p> <p>4.手を洗う動作が困難 <span style="float:right">0</span></p> <p>5.その他 (和式便器/人工肛門パウチ) <span style="float:right">3</span></p> <p>10.詳細記述なし <span style="float:right">2</span></p> <p>00.該当記述なし <span style="float:right">16</span></p>



### 3. 「入浴」に関する「改善しようとする動作」の細分類

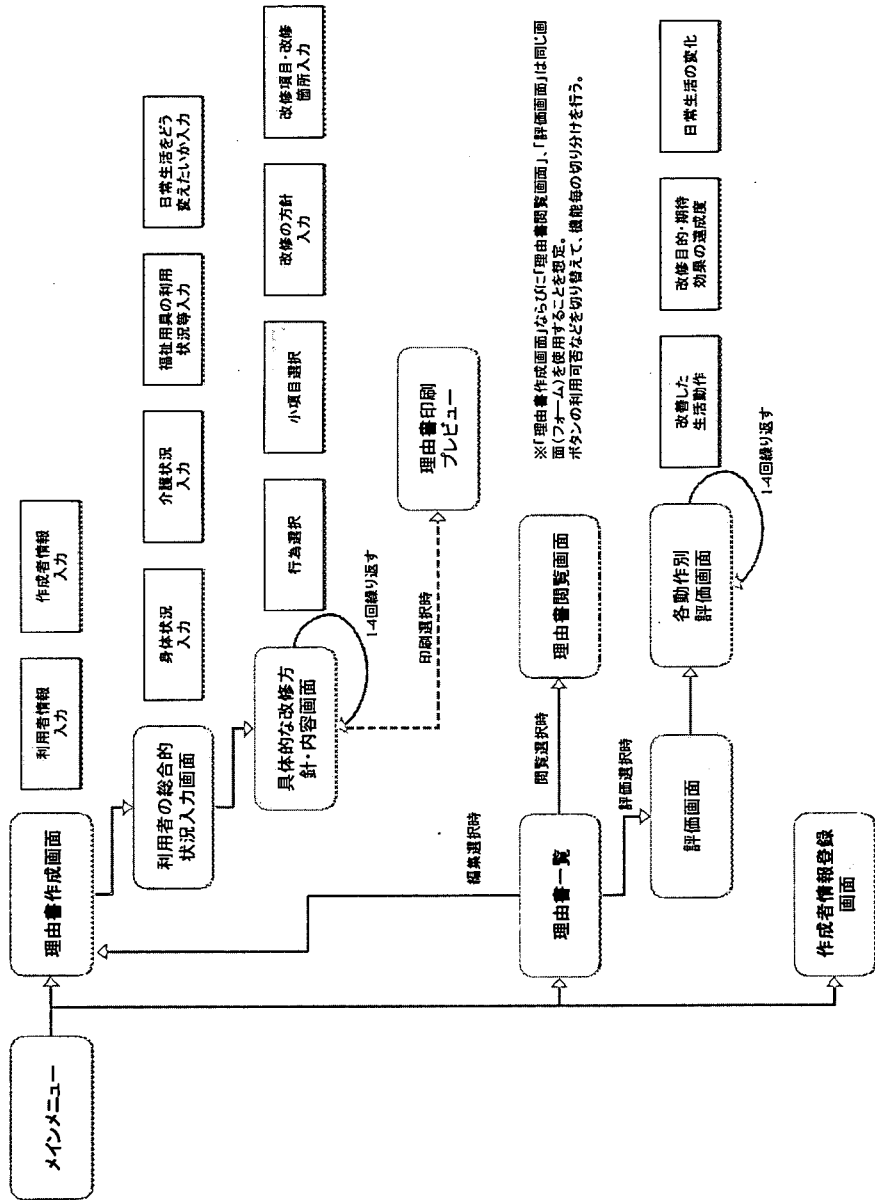
<b>1. 浴室までの移動</b> N=65 <b>[歩行・杖の場合]</b> 1.つかまる所がなく、歩行が不安定 30 2. (大きな) 段差があり、昇り降りが不安定 2 3. (小さな) 段差があり、つまづく危険がある 6 4.途中の扉の開閉が困難 6 5.途中の階段の昇降が不安定 2 6.その他 (経路ガイド) 1 <b>[車いす・シャワーキャリー・歩行器の場合]</b> 11.床が畳等で、車いすが走行しにくい 1 12.敷居などの段差で、車いすが走行しにくい 5 13.途中の扉の開閉が困難 0 14.途中の扉の幅が狭く、通行に支障 1 15.通路幅が狭く、通行に支障 1 16.途中の階段の昇降が困難 0 17.その他 0  10.詳細記述なし 4 00.該当記述なし 11	<b>4. 浴室内での移動 (立ち座りを含む)</b> N=109 1.つかまる所がなく、歩行が不安定 32 1'シャワーキャリーの走行不安定 0 2.床が滑り移動が不安定 13 3.立ち座りが不安定 9 3'立ち上がり (腰掛け動作) が不安定 21 4.方向転換動作が不安定 1 5.扉の開き勝手が動作の妨げになる 2 6.その他 (視力障害安全確保/座位横移動) 2  10.詳細記述なし 18 00.該当記述なし 23
<b>2. 衣服の着脱</b> N=18 <b>[立って着替える場合]</b> 1.つかまる所がなく、動作が不安定 4 2.狭くて動作がしにくい 0 3.その他 0 <b>[座って着替える場合]</b> 11.立ち上がりが困難 4 12.座位の保持が不安定 0 13.狭くて動作がしにくい 0 14.その他 0  00.該当記述なし 10	<b>5. 洗い場での姿勢保持 (洗体・洗髪を含む)</b> N=36 1.洗体・洗髪の際の座位姿勢が不安定 4 2.洗体・洗髪の際の立位保持が不安定 4 3.水栓金具・シャワーの操作が困難 0 4.その他 0  10.詳細記述なし 7 00.該当記述なし 22
<b>3. 浴室出入口の出入</b> N=148 <b>[歩行・杖の場合]</b> 1. (大きな) 段差があり、昇り降りが不安定 65 1' 段差を降りる (昇る) 動作が不安定 12 2. (小さな) 段差につまづく危険がある 12 3.床が滑りやすく浴室へ入る際に不安定 5 4.出入口扉の開閉動作・出入り動作が不安定 21 5.出入口扉の開閉が困難 (ノブ操作を含む) 2 6.その他 (視力障害安全確保) 2 <b>[車いす・シャワーキャリー・歩行器の場合]</b> 11.段差で、車いすの出入が困難 2 12.出入口扉の開閉が困難 0 13.出入口扉の幅が狭く、通りにくい 0 14.その他 (車いすからの立ち上がり) 2  10.詳細記述なし 24 00.該当記述なし 15	<b>6. 浴槽の出入 (立ち座りを含む)</b> N=127 <b>[立って出入りする場合]</b> 1.跨ぎ動作が不安定 37 2.立ち座り動作が不安定 9 2' 立ち上がり動作が不安定 19 3.方向転換動作が不安定 1 4.浴槽から出る動作が困難 2 5.その他 (視力障害安全確保) 2 <b>[腰掛けて出入りする場合]</b> 11.座位の横移動が困難 1 12.浴槽へ入る動作が困難 1 13.浴槽から出る動作が困難 1 14.その他 0  10.詳細記述なし 50 00.該当記述なし 17
	<b>7. 浴槽内での姿勢保持</b> N=44 1.身体が浮いて、不安定 2 2.足腰が曲がりにくく肩まで湯に浸かれない 0 3.その他 (床滑る/脚伸ばせない) 3  9.詳細記述なし 13 0.該当記述なし 26
	<b>8. その他</b> N= 1 1.給湯器スイッチの操作が困難 1

4. 「外出」に関する「改善しようとする動作」の細分類

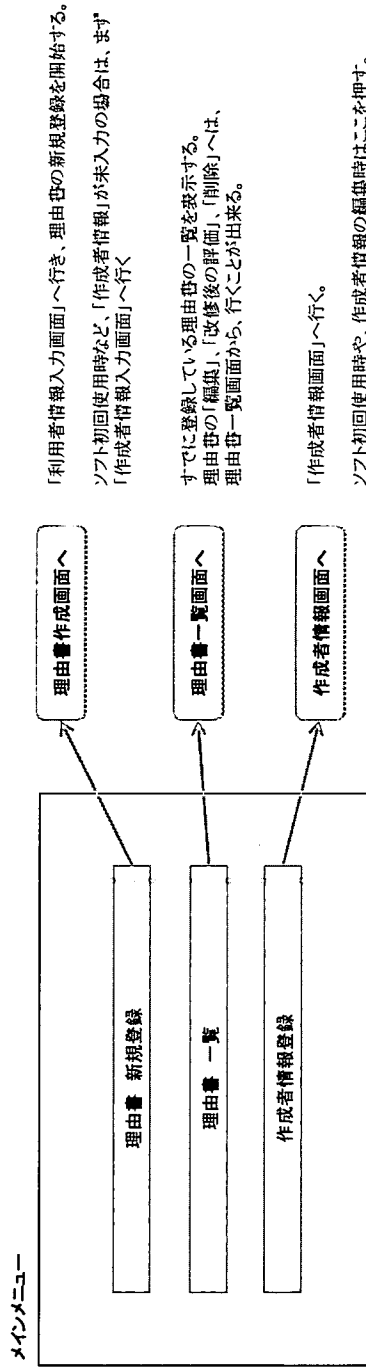
<p><b>1. 出入口までの移動（廊下や玄関たたき等） N=78</b></p> <p><b>[歩行・杖の場合]</b></p> <p>1.つかまる所がなく、歩行が不安定 43</p> <p>2.（大きな）段差があり、昇り降りが不安定 0</p> <p>3.（小さな）段差があり、つまづく危険がある 3</p> <p>4.途中の扉の開閉が困難 1</p> <p>5.途中の階段の昇降が不安定 1</p> <p>6.立位姿勢の保持が困難 2</p> <p>7.その他（経路ガイド/エレベータ乗り降り） 2</p> <p><b>[車いす・シャワーキャリー・歩行器の場合]</b></p> <p>11.床が畳等で、車いすが走行しにくい 3</p> <p>12.敷居などの段差で、車いすが走行しにくい 7</p> <p>13.途中の扉の開閉が困難 0</p> <p>14.途中の扉の幅が狭く、通行に支障 1</p> <p>15.通路幅が狭く、通行に支障 0</p> <p>16.途中の階段の昇降が困難 0</p> <p>17.その他 0</p> <p>10.詳細記述なし 6</p> <p>00.該当記述なし 14</p>	<p><b>5. 出入口の出入 N=26</b></p> <p><b>[歩行・杖の場合]</b></p> <p>1.内外（敷居）の段差の昇降が不安定 5</p> <p>2.内外（敷居）の段差につまづく危険がある 0</p> <p>3.ドアの開閉動作が不安定 4</p> <p>4.ドアの施錠・解錠が困難 1</p> <p>5.その他 3</p> <p><b>[車いす・シャワーキャリー・歩行器の場合]</b></p> <p>11.内外（敷居）の段差で車いすの通行に支障 4</p> <p>12.出入口の扉の開閉が困難 1</p> <p>13.出入口の扉の開き勝手が動作の妨げになる 0</p> <p>14.出入口の幅が狭く、通りにくい 1</p> <p>15.その他 0</p> <p>10.詳細記述なし 0</p> <p>00.該当記述なし 8</p>
<p><b>2. 上がり框の昇降 N=118</b></p> <p>1.段差の昇降動作が不安定（理由の記述有） 76</p> <p>1 降りる動作が不安定 10</p> <p>1 昇る動作が不安定 8</p> <p>2.段差につまづく危険がある 1</p> <p>3.その他（姿勢保持） 3</p> <p>10.詳細記述なし 11</p> <p>00.該当記述なし 9</p>	<p><b>6. 出入口から敷地外までの屋外移動 N=122</b></p> <p><b>[歩行・杖の場合]</b></p> <p>1.つかまる所がなく、歩行が不安定 14</p> <p>2.通路の足元が悪く、歩行不安定（つまづく） 10</p> <p>3.外階段やステップの昇降が不安定 77</p> <p>3 外階段やステップの昇り（降り）が不安定 5</p> <p>4.門扉の開き勝手が動作の妨げになる 1</p> <p>5.その他（徘徊コースの安全確保） 5</p> <p><b>[車いす・シャワーキャリー・歩行器の場合]</b></p> <p>11.通路の足元が悪く、車いすが走行しにくい 5</p> <p>12.通路幅が狭く、車いすが走行しにくい 0</p> <p>13.外階段やステップの昇降が困難 6</p> <p>14.門扉の開き勝手が動作の妨げとなる 0</p> <p>15.その他 0</p> <p>10.詳細記述なし 9</p> <p>00.該当記述なし 5</p>
<p><b>3. 車いす等、装具の装着 N= 5</b></p> <p>1.車いすの移乗が困難 1</p> <p>2.その他 0</p> <p>10.詳細記述なし 1</p> <p>00.該当記述なし 3</p>	<p><b>7. その他 N= 1</b></p> <p>1.庭までの移動が困難 1</p>
<p><b>4. 履物の着脱 N=43</b></p> <p>1.着脱中の立位保持が不安定 11</p> <p>2.着脱後の立ち上がり動作が不安定 9</p> <p>3.着脱のための腰掛け動作が不安定 4</p> <p>4.着脱のための前傾姿勢保持が困難 1</p> <p>5.その他 0</p> <p>10.詳細記述なし 10</p> <p>00.該当記述なし 10</p>	

## 資料7 開発した「理由書作成支援ソフト」の画面構成

# 画面フロー



＜メインメニュー＞



「利用者情報入力画面」へ行き、理由書の新規登録を開始する。  
ソフト初回使用時など、「作成者情報」が未入力の場合は、まず  
「作成者情報入力画面」へ行く

すでに登録している理由書の一覧を表示する。  
理由書の「編集」、「改修後の評価」、「削除」へは、  
理由書一覧画面から、行くことが出来る。

「作成者情報画面」へ行く。

ソフト初回使用時や、作成者情報の編集時はここを押す。

コントロール一覧

ラベルまたは名称	コントロール	必須	初期値	入力制限	備考
理由書新規登録ボタン	ボタン				
理由書一覧ボタン	ボタン				
作成者情報ボタン	ボタン				

## <作成者情報登録画面>

### 作成者情報登録画面

作成者情報登録

作成者情報を入力してください

所属事務所:  (全角50文字以内)

資格:  (全角30文字以内)

氏名:  (全角30文字以内)

連絡先(住所):  (全角30文字以内)

連絡先(電話番号):  (全角10文字以内)

※一度登録した後は、登録済みデータが初期値として表示される。

### コントロール一覧

ラベルまたは名称	コントロール	必須	初期値	入力制限	備考
所属事務所	テキストボックス	○	空欄	全角50文字以内	
資格	テキストボックス	○	空欄	全角30文字以内	
氏名	テキストボックス		空欄	全角30文字以内	
連絡先(住所)	テキストボックス	○	空欄	全角30文字以内	
連絡先(電話番号)	テキストボックス	○	空欄	全角10文字以内	

# ＜理由書一覧・検索画面＞

## 理由書一覧画面

しほり込み検索

理由書番号:  (ID) 氏名:  (ID) 被保険者番号:  (ID) 作成日: 年 月 日 ~ 年 月 日

作成者:  (ID) 評価:  評価済み  未評価

条件クリア  検索

理由書番号	作成日	更新日	被保険者番号	氏名	作成者	評価済	編集	削除
00000001	H19/10/10	H19/10/10	0123456789	○川○男	介護太郎	<input type="button" value="評価する"/>	<input type="button" value="編集する"/>	<input type="button" value="削除"/>
00000002	H19/10/10	H19/10/10	0123456788	○谷○子	介護太郎	<input type="button" value="評価済不可"/>	<input type="button" value="編集する"/>	<input type="button" value="削除"/>
00000003	H19/10/10	H19/10/10	0123456787	□村□蔵	介護太郎	<input type="button" value="評価する"/>	<input type="button" value="編集する"/>	<input type="button" value="削除"/>
00000004	H19/10/10	H19/10/10	0123456765	△田△男	介護太郎	<input type="button" value="評価する"/>	<input type="button" value="編集する"/>	<input type="button" value="削除"/>
...	...	...	...	...	...	...	...	...

検索条件をクリアする

しほり込みを解除して全ての理由書を表示する。

対象列を並べ替え、押す度に昇順、降順という風に変化する。

アラート表示後、レコードを削除

「改修後の評価」画面へ行く  
「評価済み」の場合は、「評価済み」と表示され、ボタンを押せない。

「理由書 確認画面」へ行く。  
「理由書 確認画面」の場合は、「編集不可」と表示され、ボタンを押せない

「理由書 閲覧画面」へ行く。

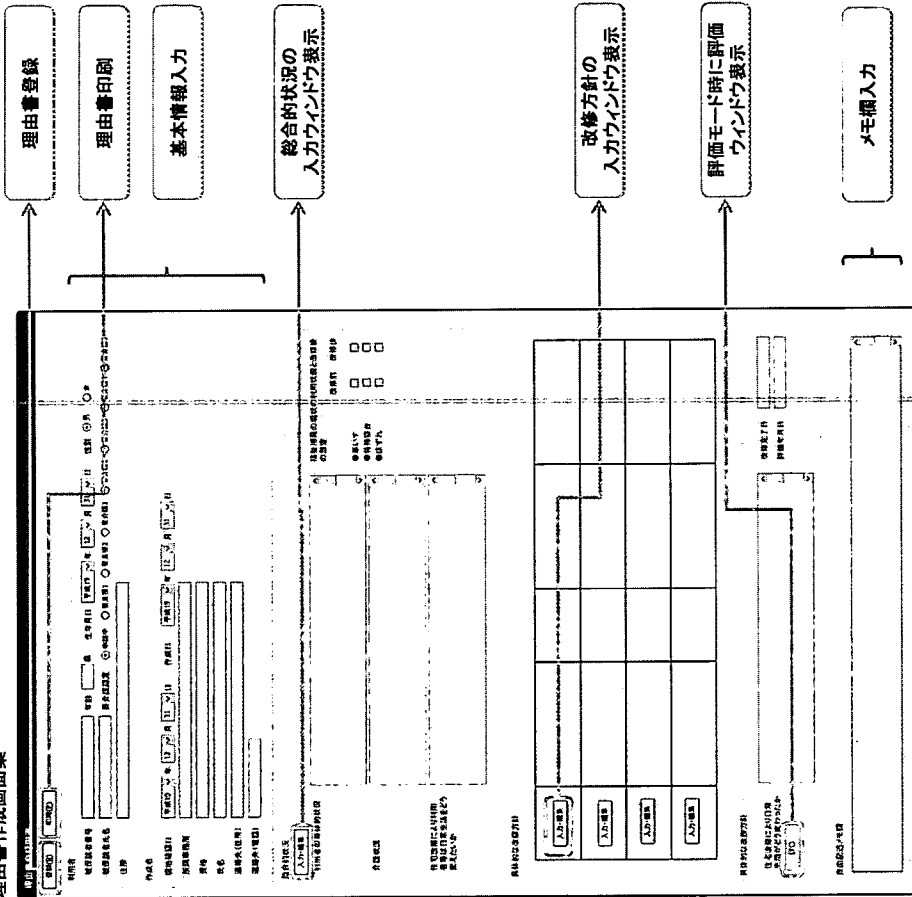
＜理由書一覧・検索画面＞ - コントロール一覧 -

しほり込み検索 コントロール一覧		ラベルまたは名称	コントロール	必須	初期値	入力制限	備考
理由書番号						英数字、理由書番号最高桁数以下	後方一致
被保険者番号			テキスト		空欄	半角数字10文字以内	前方一致
氏名						全角50文字以内	部分一致
作成者						全角50文字以内	部分一致
作成日	検索開始年					終了日付以前の値	「平成YY」の形式で、システム運用開始年～現在の年
	検索開始月					終了日付以前の値	1～12 の整数値
	検索開始日					終了日付以前の値 / 指定した年月で、有効な日付のみ	1～31 の整数値
	検索終了年		ドロップダウン			開始日付以後の値	「平成YY」の形式で、システム運用開始年～現在の年
	検索終了月					開始日付以後の値	1～12 の整数値
検索終了日					開始日付以後の値 / 指定した年月で、有効な日付のみ	1～31 の整数値	
評価	評価済み		チェックボックス		未チェック		チェックすると評価済みの理由書を検索条件に含める
	未評価						チェックすると未評価の理由書を検索条件に含める
検索	理由書一覧		実行ボタン				指定された検索条件により絞られた情報をリスト表示
	表示列						
理由書一覧 表示列		ラベルまたは名称	コントロール	並べ替え	初期値	表記方法	備考
理由書番号			リンク	○			クリック時に理由書の閲覧画面を開く
作成日			テキスト	○			表示のみ
更新日			テキスト	○		和暦表記: 年号英字YY/MM/DD	
被保険者番号			テキスト	○			
氏名			テキスト				
作成者			テキスト	○			
編集							
	実行ボタン		実行ボタン		表記: 評価する / 編集する / 編集不可		・評価欄が「評価する」の場合、「編集する」と表示編集画面が開く ・評価欄が「評価済み」の場合、「編集不可」と表示ボタンは使用不可になる ・理由書が未評価の場合、「評価する」と表示評価画面が開く ・すでに評価済みの場合、「評価済み」と表示ボタンは使用不可になる
評価							
	実行ボタン		実行ボタン		表記: 評価する / 評価済み		
削除			実行ボタン				・アラート表示後、レコードを削除する



# <理由書作成画面>

理由書作成画面案



全ての必須項目が入力されている場合、理由書の登録を行う。

全ての必須項目が入力されている場合、理由書の印刷を行う。  
必須項目に抜けがある場合には警告を発する。

基本情報を当画面上で入力する。

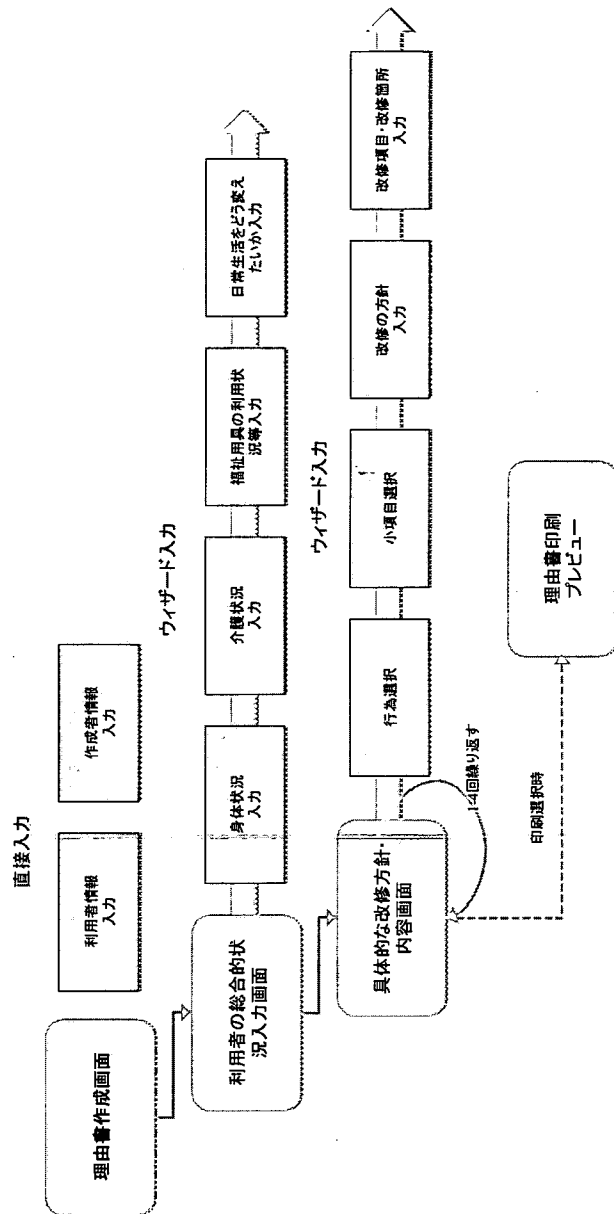
評価モード時には同ボタンが「評価」という表示になり、改修結果の評価入力ウィンドウを表示する。

## ＜理由書作成画面＞ コントロール一覧

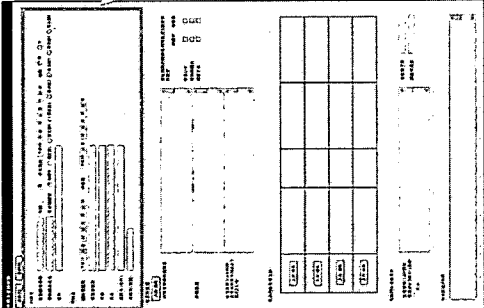
### 理由書確認画面

ラベルまたは名称	コントロール	必須	初期値	入力制限	備考
登録ボタン	実行ボタン				
印刷ボタン	実行ボタン				理由書を印刷する 各項目が入力済みかどうかを確認、未記入項目があれば、印刷前に、 警告を表示。
基本情報	複合コントロール				作成者情報、利用者情報は別途定義
総合的状況 入力・編集	実行ボタン				入力・編集画面を別ウィザード画面で開く
具体的な改修方針・内容入力・編集 評価する	実行ボタン×4 実行ボタン				入力・編集画面を別ウィザード画面で開く 「改修後の評価」ウィザードを別画面で開く すでに各必須項目が入力済みの場合のみ、使用可能。
メモ欄	テキスト				自由記述メモ

## ＜理由書作成画面＞ 情報入力の流れ



# ＜理由書作成画面＞ 基本情報部分



利用者情報、作成者情報 部分

利用者	被保険者番号	年齢	* 歳	生年月日	年	日	性別	◎男 ○女
	被保険者氏名	要介護認定		◎申請中 ○要支援1 ○要支援2 ○要介護1 ○要介護2 ○要介護3 ○要介護4 ○要介護5				
	住所							

作成者	現地確認日	作成日						
	所属事務所							
	資格							
	氏名							
	連絡先(住所)							
	連絡先(電話番号)							

被保険者番号オート表示機能
作成者情報自動入力機能

被保険者番号を入力し終了した時点で、登録済み理由書を検索し、同じ番号が見つかった場合、その中の一番最後の利用者情報を取得。  
 利用者情報の他の項目が全て初期値の場合には該当データを表示する機能。

理由書新規登録時には登録済みの作成者情報をデータベースから取得して、該当箇所にデータを表示する。